

国語問題

第一問

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、ホームページでは公開しておりません。

著作権の関係上、ホームページでは公開しておりません。

問1 二重傍線部①～⑤のカタカナにあたる漢字と同じ漢字を含むものを、各群のa～eのうちから一つずつ選べ。

- ① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5

① ケイエン

- a 法律でケイバツを定める。
b コウケイ者を養成する。
c 地球のチョッケイを計算する。
d シッケイなことを言う。
e 新聞にケイサイする。

② タワムレ

- a サギをはたらく。
b ギセイを払う。
c ギキョクを書く。
d ギメイを使う。
e レイギをわきまえる。

③ キカイ

a キボを縮小する。

b ジョウキを逸する。

c キセイの概念を覆す。

d 手先がキヨウだ。

e スウキな運命をたどる。

④ リヨウブン

a セイリヨウ感がある。

b ホンリヨウを発揮する。

c 職場のドウリヨウ。

d 山にシュリヨウに出る。

e 観衆をミリヨウする。

⑤ バイタイ

a 野菜をサイバイする。

b バイバイ契約を結ぶ。

c 登録者がバイゾウする。

d 庭のコウバイが香る。

e 感染症をバイカイする。

問2 空欄A～Eを補う言葉として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つずつ選べ。(同じものを二度以上選んではいけない。)

A 6 B 7 C 8 D 9 E 10

a 集合 b 呪術 c 宗教 d 具体 e 概念

問3 傍線部1「小説を書く……恥知らずをおかすことであり」とあるが、筆者がこのように述べる背景にある事柄として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

11

- a 筆者は、小説を書くことは口舌の徒がすることだと考えていたこと
- b 筆者は、自分自身のことをくだくと喋ることを忌み嫌っていたこと
- c 筆者は、小説の言葉は論ずる言葉とはなりにくいと考えていたこと
- d 筆者は、実際の仕事に携わるように出来た家庭の影響を受けて育ったこと
- e 筆者は、小説を人前に晒すのは道義道德に反すると考えていたこと

問4 傍線部X「のたうつ」、Y「通り言葉」の本文中の意味として最も適当なものを、各群のa～eのうちから一つずつ選べ。

X Ⅱ

12

Y Ⅱ

13

X「のたうつ」

- a からだを揺らす
- b 苦しみがく
- c ぶるぶる震える
- d 飛び回る
- e 逃げまどう

Y「通り言葉」

- a 普通に使われている言葉
- b 仲間うちで用いられる言葉
- c 表面的で意味の浅い言葉
- d 型にはまった形式的な言葉
- e 意味のわかりやすい言葉

問5 傍線部2「現実の生に密着しようとする行き方こそ危険は大きい」とあるが、何の危険が大きいのか。その説明として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

14

- a 道義道德に反すること
- b 現実とのズレがむしろ大きくなること
- c 現実離れた虚構の世界に閉じこもること
- d 主体と対象が分離してしまうこと
- e 小説家として大成しないこと

問6 傍線部3「私小説風」とはどのような小説か。その説明として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

15

- a 新参者である日本の近代小説において独自に発達したもので、作者自らの醜い面をひたすら暴き出そうとする小説である。
- b 作者の身近な生の現実をありのままに描いているように見えて、実際にはその細部に虚構が含まれている小説である。
- c 虚構を排して限りなく私的な現実^にに密着するように見えて、表現行為そのものの虚構性を追求しようとする小説である。
- d 文体の虚構性をどこまでも追い求めようとする小説で、技巧の限りを尽くした修辭や、実験的な作風に大きな特徴がある。
- e 現実と虚構とのズレを消去しようとする小説で、その現実性によって言葉の呪術の力を抑えこもうとするものである。

問7 傍線部4「この働きも、日本の近代小説が出来るかぎり切り捨てようとしてきたもののひとつである」とあるが、筆者は日本の近代小説と言葉の呪術との関係をどのように考えているか。その説明として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

16

- a 日本の近代小説は、個と個の関係の中で読者の情念の深みにまで働きかけることを嫌って、言葉の呪術性を閉じ込めようとしてきた。
- b 日本の近代小説は、明治以来新たに現れる事象を追いかけるために、読者の情念の深層に働きかける言葉の呪術の力を利用してきた。
- c 日本の近代小説は、言葉の呪術の力を過度にふるう知識人によって書かれたために、読者の日常の人格を解き崩す方向に働いてきた。
- d 日本の近代小説は、明治以来の近代化の流れの中で生まれてきたもので、言葉の呪術性を極力排除した明晰な文体で書かれてきた。
- e 日本の近代小説は、評論家やジャーナリストなどが言葉の呪術性を《解放》しているのを嫌って、《崇高》なものを志向してきた。

問 8 傍線部 5「その手の言葉」とは端的に言うところのような言葉か。その説明として最も適当なものを、次の a ～ e のうちから一つ選べ。

17

- a 新たな事象を追う言葉
- b 呪術の力を失った言葉
- c 生死の境まで迫る言葉
- d 人間の感性に訴える言葉
- e 呪文のように働く言葉

問 9 傍線部 6「呪術の力を得る」とあるが、何が「呪術の力を得る」のか。最も適当なものを、次の a ～ e のうちから一つ選べ。

18

- a 虚構
- b 現実
- c 言葉
- d 書き手
- e 意識の深層

問 10 本文の内容と合致するものを、次の a ～ e のうちから一つ選べ。

19

- a 日本の近代小説は虚構を駆使し、言葉の呪術の力を最大限に活かすという点に大きな特徴がある。
- b 現実の生について虚構をめぐるということは、主体と対象の潔癖なまでの分離を要求する。
- c 日本の近代小説は虚構を排除する代わりに、雄弁になり、修辞を弄び、実験的な小説に挑戦した。
- d 日本の近代小説は言葉の呪術を嫌悪してきたが、その力に依存していることもまた確かである。
- e 小説は口語文で書かれるため、音や色彩で表現する芸術よりも現実の生をリアルに表現できる。

次のページに続く

第二問

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の関係上、ホームページでは公開しておりません。

著作権の関係上、ホームページでは公開しておりません。

問1 空欄イ～ホを補う言葉として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つずつ選べ。(同じものを二度以上選んではいけない。)

イ 20 ロ 21 ハ 22 ニ 23 ホ 24

a そうすると b しかし c だから d 一方 e むしろ

問2 傍線部1「仕事」と熟語の読み方が同じものを、次のa～eのうちから一つ選べ。 25

a 店番 b 田園 c 残高 d 風邪 e 木陰

問3 傍線部2「自分らしく」の「らしく」を説明した次の文章の空欄甲、乙を補うのに最も適当なものを、各群のa～eのうちから一つずつ選べ。 甲 26 乙 27

「自分らしく」の「らしく(らしい)」は推量などの意を表す 甲 「らしい」と混同しやすいが、「自分らしく」は「自分の資質を十分に備えている」の意であるから、 乙 の「らしい」と同じく、名詞に付いて形容詞を作る接尾語とるのが適当だろう。ただ 乙 に比べると、まだ単語(名詞+接尾語)としての市民権を得たとはいえないようだ。

甲 a 形容詞 b 動詞 c 副詞 d 助動詞 e 助詞

乙 a ニュースによると、台風が接近しているらしい。

b ぶらぶらしている彼は、よほど暇らしい。

c 彼女の仕草はなんとなくわざとらしい。

d 敢然と敵に立ち向かう彼はとても男らしい。

e 練習らしい練習もできないまま本番を迎えた。

問 4 傍線部 3「こんなことを言う」の「こんなこと」の内容の説明として最も適当なものを、次の a～e のうちから一つ選べ。

28

a 他人と比べたり、ナンバーワンを目指したりしても、魅力的な生き方や働き方には見えない。

b 個性的な生き方ができたり、専門的な能力が持てれば、それはいいだろうと思う。

c 個性や専門性などなくても、十分、充実した人生を送ることができる。

d 一部の資格を除けば、資格は専門的な能力の一つの目安にはなるかもしれない。

e 会社は口でこそ「個性的でユニークな人材を求めます」などと言っている。

問 5 傍線部 4「それ」が指示する語句として最も適当なものを、次の a～e のうちから一つ選べ。

29

a 周り

b 自分にしかない、できないもの

c 自分自身

d 他の人

e 存在意義（希少価値）

問6 傍線部5「完全にまちがっています」とあるが、筆者がこのように述べる理由として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

30

- a 筆者は、専門性は才能のある人しか身につけられないと考えているから。
- b 筆者は、会社は即戦力に見合う賃金を払えるわけではないと考えているから。
- c 筆者は、個性や専門性などなくてもちゃんと生きていけると考えているから。
- d 筆者は、どんな人でも入社した翌日からフル回転で働けるとは考えていないから。
- e 筆者は、個性や専門性は試行錯誤を繰り返しながら身につくものと考えているから。

問7 傍線部6「カベの前でちゃんとウロウロしている」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

31

- a カベにぶつかったら、それから逃げようとせず、もがき続けるということ
- b 自分独りでカベを乗り越えようとしないで、誰かの助けを待つということ
- c 自分の知識や経験をフル稼働して、何とかカベを乗り越えるということ
- d いつかカベが崩れると信じて、その日が来るまで待ち続けるということ
- e 無理にカベを乗り越えようとしないで、回り道がないか探すということ

問8 傍線部7「何かが吹っ切れた気がして」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

32

- a 何ごととも失敗を恐れていてはだめで、果敢に挑戦して失敗したら、そのときはそのときだと思えるようになったということ
- b 会社に入社してわからないことがあったら、他の社員に尋ねて教えてもらえばいいと思えるようになったということ
- c 自分の力では絶対に乗り越えられないと思っていたカベも、案外乗り越えられると思えるようになったということ
- d 一生懸命に頑張ったのにカベを乗り越えられないからといって落ち込まなくてもいいと思えるようになったということ
- e 新入社員は下手に頑張っても失敗するだけだから、むしろ頑張らないほうがいいと思えるようになったということ

問9 本文から次の文が抜け落ちている。本文中の（1）（5）のどこに戻すのがふさわしいか。最も適当なものを、後群の

a～eのうちから一つ選べ。

33

もちろんオリンピックなどのスポーツ競技は別だと思いますけど。

a （1） b （2） c （3） d （4） e （5）

問10 本文を読んだ五人の生徒の意見のうち、筆者の考えと合致するものを、次のa～eのうちから一つ選べ。

34

- a なるほど。ナンバーワンになるよりオンリーワンになる方が簡単だし、自分らしく生きていけると筆者は主張しているよ。
- b いや、筆者はオンリーワンになることもそれなりに大変なことだと述べているよ。リクルートスーツを例にあげてね。
- c でも筆者は個性や専門性などなくてもちゃんと生きていけるとも言ってるじゃないか。リクルートスーツがまさにその証拠だ。
- d いや、個性や専門性がなくてもいいと言ってるわけではなく、それを身につけようと努力することが大事だと言ってるんだよ。
- e うん、そうだよね。個性や専門性はやっぱり必要なわけで、もしそれがなかったらカベを乗り越えることも不可能なんだ。